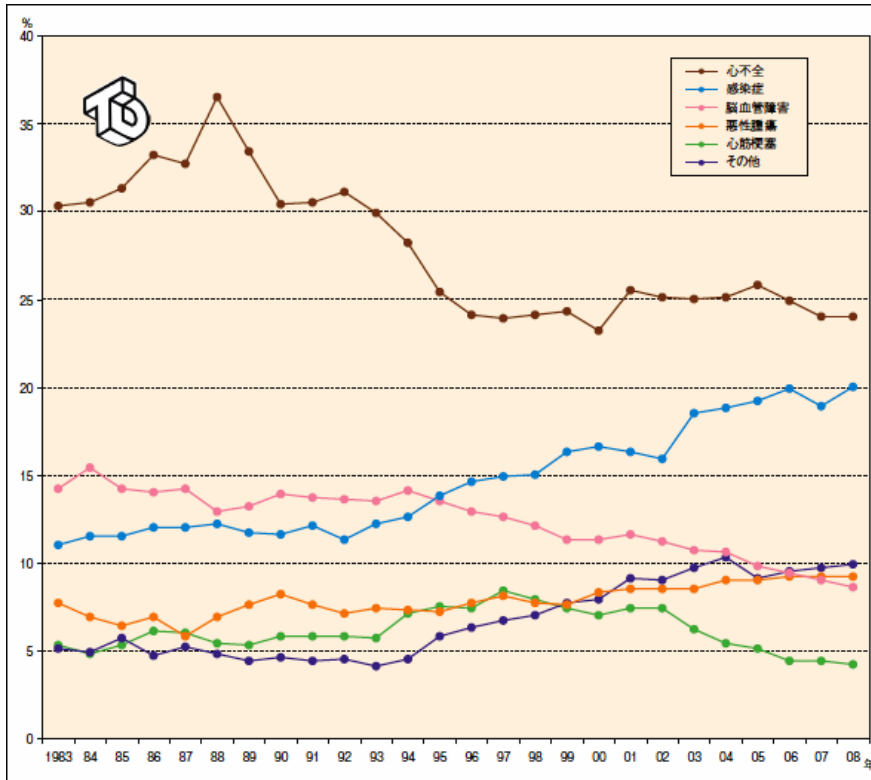


小角院長通信

発行日
H21.10.26
発行者
小角幸人

21号

透析患者の死因では、感染症が2位、悪性腫瘍が4位となっていますが、近年 感染症の死亡原因の割合が増加しています。(下図)



感染症

感染症は、重症，難治性となることが多く，しばしば生命にも危険が及ぶ。透析患者の感染症の内訳は肺感染症（肺炎）がもっとも多く，次いで腹膜炎，敗血症，結核の順になっています。

気をつけることは？

- しっかりと透析を行い、十分な栄養を摂取しましょう。
- 喫煙者は、禁煙する。
- 適度な運動。高齢者では自分で歩いて（ただ立ってさえ）いればOK
- シェント感染の予防に心がけましょう。シェント肢の手洗いや消毒は十分に行う。かき傷をつくらぬ。発赤、痛み、熱感など予兆があれば、早めにみてもらいましょう。
- 感染の防御策や早期発見、早期治療。風邪などをこじらせないようにしましょう。
- インフルエンザの予防・「[インフルエンザワクチン](#)」接種
- 肺炎の予防 インフルエンザから肺炎を併発しやすいため。「[肺炎球菌ワクチン](#)」の接種
- 慢性炎症をかかえていませんか？ 虫歯・歯肉炎（歯槽膿漏）や、副鼻腔炎（蓄膿）はありませんか？「透析患者は歯が命！」（口腔ケア）
- 内服薬（抗生剤・抗結核剤など）の服用は、指示どおり、きちんと服用しましょう。